

コースコード：IL-CD059

税込価格：55,000円 (税抜価格：50,000円)

日数：1日間

ここに注目!!

セキュリティマネジメントの枠組みは、一度構築して終わりではありません。環境変化に合わせ戦略的に見直し、リスクを管理し続けることが重要です。評価・監査を単なるチェックではなく「組織の意思決定を支える情報提供」と捉え、成果に結びつけるための技法の習得を目指します。

当トレーニングは、2026年度の情報処理安全確保支援士の実践講習として選定されています。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・内部監査(情報セキュリティ監査・システム監査)に従事している方
- ・組織のマネジメントプロセスを評価・改善に従事している方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・セキュリティ監査3年以上の実務経験があること
- ・情報処理安全確保支援士であること若しくは、それに相当する知識・ノウハウがあることが望ましい
- ・情報セキュリティマネジメント構築(IL-CD051)の受講していること、若しくは情報セキュリティマネジメントの構築の知識・ノウハウがあることが望ましい

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

修了した時点で、次のことができることを目標とします。

【知識】

- ・情報セキュリティマネジメントの評価がどのように組織の事業成果に貢献するかを説明できる
- ・内部監査のプロセス、目的、監査前に収集すべき知識と身に付けなければならない技術、心得について説明できる

【技能】

- ・監査前に社内の状況整理と備忘録を作成することが出来る
- ・マネジメントプロセスに対する内部監査の見方ができる
- 事業上の成果を達成するために、情報が果たすべき役割について説明でき、監査できる
- 情報の流通が、事業機会を高め、貢献できることについて説明でき、監査できる
- ・オペレーションプロセスに対する内部監査の見方ができる
- 情報の流通を阻害することの影響について説明でき、そのリスクを監査できる
- ・改善指示を出し、報告できる

アウトライン



オリエンテーション

第1章 情報セキュリティマネジメントを評価する趣旨

第2章 情報セキュリティマネジメントを評価する方法

第3章 監査

第4章 マネジメントシステムの主要な要求事項

第5章 情報セキュリティの管理策

第6章 内部監査の概要

第7章 計画・事前準備の重要性

第8章 監査技法

第9章 指摘事項の上手な出し方

第10章 報告の重要性

演習

マネジメントが欲する評価情報

管理策

監査を疑似体験してみましょう

変数の高度な管理とデータフローの最適化

指摘事項を書いてみましょう